

令和5年12月22日

都市整備局国際園芸博覧会推進課

2027年国際園芸博覧会におけるGX展開の基本事項検討業務委託 契約結果

2027年国際園芸博覧会におけるGX展開の基本事項検討業務委託について、公募型プロポーザル方式で受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名 2027年国際園芸博覧会におけるGX展開の基本事項検討業務委託
- 2 委託内容 GX展開に関する基本事項検討 等
- 3 契約の相手方 株式会社乃村工藝社
- 4 契約金額 55,000,000円
- 5 契約日 令和5年11月15日
- 6 評価結果

提案者(全1者)	評価点数	順位
株式会社乃村工藝社	743	1

7 評価委員会開催経過等

委員会開催日時	令和5年11月7日(火)10時00分から11時00分	
委員会開催場所	市庁舎27階S04会議室	
評価委員の出席状況	評価委員7名中7名出席	出席者数
		7/7
事務局	都市整備局国際園芸博覧会推進課	
議事内容	・プロポーザル評価委員会までの経緯について ・受託候補者の選定について(ヒアリング) ・提案書及びヒアリングを踏まえた評価及び結果の確認	

- 8 評価基準
別紙のとおり

- 9 問い合わせ先
横浜市都市整備局国際園芸博覧会推進課
担当:岩田、熊澤
TEL:045-671-4627

**「2027年国際園芸博覧会におけるGX展開の基本事項検討業務委託」
に関するプロポーザルに係る提案書評価基準**

表1の評価項目及び重みづけのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の視点は表2のとおりとし、採点が同点の場合は、評価事項のうち、提案内容の合計点数で再評価を行い、受託候補者を特定します。

表1 基本的評価事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実績及び 業務実施体制 (30点)	管理技術者	本業務に生かすことのできる過去の実績があるか	10		
	担当技術者	本業務に生かすことのできる過去の実績があるか	10		
	業務実施体制	業務実施体制が整っているか	10		
提案内容 (60点)	本市の取組状況を把握し、将来を見据えた提案となっているか		20		
	本業務の趣旨・目的の十分な理解に基づいた具体性のある提案であるか		20		
	独自の発想・視点を持った提案であるか		20		
ヒアリング (30点)	取組意欲が感じられるか		15		
	理解力や専門技術力はあるか		15		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等 (6点)	次の項目を満たしているか <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員301人未満の場合のみ加算） <input type="checkbox"/> 次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク、プラチナくるみんマーク）の取得、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼし）の取得、またはよこはまグッドバランス賞の認定の取得 <input type="checkbox"/> 若者雇用促進法に基づく認定（ユースエール）の取得 <input type="checkbox"/> 障害者雇用促進法に基づく法定雇用率2.3%の達成 <input type="checkbox"/> 健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得、または、横浜健康経営認証のAAAクラスもしくはAAクラスの認証		6		
評点の合計（126点満点）					

- (1) 予定技術者の業務実績及び業務実施体制は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容及びヒアリングは、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 評価点について、次のように配点を行う。

配点にA = 5 / 5、B = 4 / 5、C = 3 / 5、D = 2 / 5、E = 1 / 5を乗じて算出する。

ア 予定技術者の業務実績及び業務実施体制の各項目

配点 10 点 A = 10 点、C = 6 点、E = 2 点

イ 提案内容及びヒアリング

配点 20 点 A = 20 点、B = 16 点、C = 12 点、D = 8 点、E = 4 点

配点 15 点 A = 15 点、B = 12 点、C = 9 点、D = 6 点、E = 3 点

- (4) ワーク・ライフ・バランスに関する取組の評価については、表1の「評価の着目点」に記載した項目について1つ満たすごとに1点を加算する。
- (5) D、E評価のあるものは原則として選定しない。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価				
			A	B	C	D	E
業務実績 及び業務 実施体制	管理技術者	同種又は類似業務の実績の内容	本業務に生かすことができる業務実績が十分ある※1		本業務に生かすことができる業務実績がある※2		本業務に生かせられると考えられる業務実績がない
	担当技術者	同種又は類似業務の実績の内容	本業務に生かすことができる業務実績が十分ある※1		本業務に生かすことができる業務実績がある※2		本業務に生かせられると考えられる業務実績がない
	業務実施体制	業務実施体制が整っているか	整っている		どちらもいえない		整っていない
提案内容	本市の取組状況を把握し、将来を見据えた提案であるか	的確に把握し将来を見据えた提案である	把握し将来を見据えた提案である	どちらもいえない	あまり把握しておらず将来を見据えた提案ではない	全く把握しておらず将来を見据えた提案ではない	
	調査の趣旨・目的の十分な理解に基づいた具体性のある提案であるか	十分な理解に基づいた具体性のある提案である	理解に基づいた提案である	どちらもいえない	あまり理解に基づいた提案ではない	理解に基づいた提案ではない	
	独自の発想・視点を持った提案であるか	独自の発想・視点を持った、優れた提案である	独自の発想・視点を持った提案である	どちらもいえない	独自の発想・視点がやや乏しい提案である	独自の発想・視点が乏しい提案である	
ヒアリング	取組意欲の感じられる提案であるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらもいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない	
	理解力や専門技術力はあるか	特に優れている	優れている	どちらもいえない	あまり妥当ではない	妥当ではない	
ワーク・ライフ・バランスに関する取組	表1の「評価の着目点」に記載した項目を満たしているか	項目について1つ満たすごとに1点を加算する					

※1 国際博覧会、オリンピック等の国際規模のイベントの事業計画について実績がある

※2 全国都市緑化フェア、国民体育大会など全国規模のイベントの事業計画について実績がある